

第 49 回資金管理業務諮問委員会 議事録(確報)

1. 日時:平成 24 年 12 月 11 日(火)10 時 00 分～12 時 00 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者:永田委員長、鬼沢委員、小島委員、辰巳委員、山下委員、米澤委員、
以上 6 名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題:①平成 24 年度第 2 四半期決算報告(案)について
②番号不明被災自動車の台数見込み及び処理状況について
③平成 24 年度第 2 四半期の運用の評価について
④平成 24 年度下半期における情報システムの性能対策費用に係る
特定再資源化預託金等の出えん等について
⑤資金管理業務規程「再資源化預託金等の運用の基本方針」の変更
について

5. 議事録

(1)議題①について

平成24年度第2四半期決算報告(案)について、事務局から、資料3-1から資料3-7にて説明し、案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

資料3-5の中にある理解普及活動費がほとんど支出されていないが、自動車教本の広告費用やエコプロダクツ展の費用は下半期以降に支出するというとか。

【事務局】

そうである。自動車教本については11月から配付予定であるため、11月からの請求となる。エコプロダクツ展も請求は下半期以降である。

【委員】

自動車教本への広告掲載で、教習者のどの程度カバーできるのか。

【事務局】

大手3社の中で最大手の出版社と契約しており、70%程度はカバーできる。

【委員】

他の出版社はどうなっているのか。

【事務局】

了解を得られるよう努めている。

(2) 議題②について

番号不明被災自動車の台数見込み及び処理状況について、事務局から資料 4 にて報告した。

<意見>

【委員】

資料の中で同じ定義の言葉である「引取進捗率」と「マニフェスト発行率」が混在しているので、一般の方が分かりやすい「引取進捗率」に統一して、修正すること。

【事務局】

承知した。

【委員】

別紙の市町村別の数字の中で、調査中と本当の数字のゼロの違いがわかるようにすること。また、これまでに番号不明被災自動車がないとの回答を得ている市町村は、この表から外している旨のコメントを追加すること。

【事務局】

承知した。

【委員】

総台数見込みの14,000台について、今後大きく増える可能性はあるか。

【事務局】

大きく増える可能性はないと考える。

(3) 議題③について

平成 24 年度第 2 四半期の運用の評価について、事務局から資料 5-1 及び資料 5-2 にて説明し、案のとおり承認された。

<意見>

【委員】

資料5-2の証券会社評価の中で、行政処分を2度受けている証券会社があるが、どう判断しているか。

【事務局】

この行政処分は、営業停止といったものではない。ただし、我々としては行政処分が出た段階で取引停止とし、業務改善報告書の提出後に経緯説明を受け、納得した上で取引を再開するという手順をとっている。他の公益財団と比べても、厳しい対応といえる。

【委員】

資料では、経緯説明を受けたとの記載に止まっている。修正のこと。

【事務局】

承知した。

【委員】

証券会社の検証の具体的な内容を委員に示して欲しい。

また、JARCとして、度々コンプライアンスに抵触するような証券会社にどのように対応するかを検討して、次回議論する資料を出して欲しい。

【事務局】

承知した。

(4) 議題④について

平成 24 年度下半期における情報システムの性能対策費用に係る特定再資源化預託金等の出えん等について、事務局から資料 6 にて説明し、案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

システム移行の日程である5日間の中で、実質的に実施する日数と予備日がどのくらいかは分かるか。

【事務局】

実施予定日は4日間。最悪の事態を想定してプラス1日で5日間としている。

(5) 議題⑤について

資金管理業務規程「再資源化預託金等の運用の基本方針」の変更について、事務局から資料 7 にて説明し、案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

今後についての記載はないが、経済情勢が変化した場合には改めて見直すのか。

【事務局】

現況に対する判断から、今回はこの対応を考えている。

【委員】

今後変更する際には、また、改めて見直せばよい。

以上